



渡辺 重雄
議員

ふるさと 市民制度創設の 提案について

ふるさと市民制度創設の
提案について

質問
今夏も糸魚川にゆかりのある多くの皆さんが糸魚川を訪れた。ふるさとを懐かしみ、愛着と興味を抱いて、大事に

想ってくれている人達の多さに、あらためて意を強くするとともに、糸魚川を愛する多くの人々との絆を深め、糸魚川を応援していただく「ふるさと市民制度」の必要性を感じたところである。
市の旬の情報や様々な特典を提供し、地元の食や観光を

楽しんでいただくとともに、時には地域発展のための情報交換やアドバイスをいただくなど、具体的には「市出身者などとのつながり」、「各種交流人口の拡大」、「ふるさと納税の協力依頼」、「特産品などの流通促進」、「市外人材ネットワークの構築」のためにも、ふるさと市民制度の創設について、市の考えを伺う。

市長答弁

ご提案については、交流人口の拡大やふるさと納税の協力拡大、特産品の流通促進などに向けた有効な制度と考えて



保坂 悟
議員

海洋高校と連携した 地域活性化策について

海洋高校と連携した
地域活性化策について

質問
海洋高校の生徒を国内外から募集するための特色づくりの支援策、具体的には資格取得のための施設整備や海洋関

係機関とのネットワーク強化などの可能性について伺う。
また、海洋高校ブランド商品について、地元企業と商品化されているものもあるが、商品開発や生産・販売を促進するための支援体制はどうか。

市長答弁

海洋高校では、地域の水産資源を有効利用した特産品の開発など、大変特色ある教育活動が行われており、県内外からの生徒募集に積極的に取り組まれている。市として、どのような協力が可能か調査していききたい。

また、同校での商品開発、商品化については、受け皿づくりが必要であり、産官学連携による組織体制づくり等に関する調査研究を進めていきたい。

おり、今後、調査・研究していきたい。ただ、「市外人材ネットワークの構築」については、北陸新幹線開業に伴う誘客宣伝活動の展開について、東京糸魚川会や関西糸魚川会の皆さんと情報交換をしていることや、各方面で活躍されている市出身者を中心とした奴奈川ネットワークが既に組織されていることから、新たなネットワークの構築は考えていない。

質問

特色ある(儲ける)
まちづくりについて

「儲ける自治体」の取り組み、例えば産業廃棄物の受入れ処理施設や、庭園のような美しい墓地公園・ペット墓園の整備の可能性について伺う。また、エネルギーの地産地消をめざし、耕作放棄地などでのバイオエネルギーの生産の可能性はどうか。

市長答弁

廃棄物処理施設や墓地公園等の整備は、環境への負荷の検討や、市民の皆さんの理解と合意が重要であり、実現は難しいと考えている。また、バイオエネルギーについては、先進事例等の調査研究を進めていきたい。

《その他質問項目》

- ・市民の安心安全対策について
- ・選挙について

